



その方法論、使えてますか？

徹底演習！問題解決力パワーUP講座

仕事で使える実践技法で業績向上

研修目的

- (1) ロジカルシンキングで問題解決力を高める
- (2) 問題解決の勘所「どこどこ」「なぜなぜ」「MECE」等を理解する
- (3) 多数の演習で翌日から職場で使える技法・勘所を体得する

日時 2020年 **2月19日(水)**
9:30～16:30

講師 ランダム・ウオーク 代表
田中 健一氏



マッキンゼー&カンパニーを経て、大前研一と教育業界で起業しマザーズ上場。外資系カフェチェーンでオンラインストアを立上げる。大手教育会社で役員として事業立直し等、多数の企業で問題解決に取り組む。最大手自動車グループなど上場企業を含む50社以上で研修を実施。最大手通信系グループでは研修の「わかりやすさ」で人気No1講師に選ばれる。

会場 京都経済センター（京都市下京区四条通室町東入）
※阪急「烏丸駅」、地下鉄「四条駅」下車すぐ 26番出口直結

受講料 京都商工会議所会員 **19,800円**
※消費税込 一般 **29,700円**

1. 問題解決の手順を学ぶ 【講義】

2. 問題（イシュー）を明確にする方法を体得する 【講義・グループ演習】

勘所1：問題解決の混乱を最小限にするために

- (1) 問題の定義の仕方を使えるようにする
- (2) 問題の類型と解決方法の違いを知る

3. 問題点の特定「どこどこ」を体得する 【講義・グループ演習】

勘所2：問題を取り組みやすくし、無駄な努力を省くために

- (1) 「どこどこ」を理解する
- (2) 「どこどこ」で問題を絞り込むための勘所を体得する

4. 思考の整理の仕方を学ぶ 【講義・グループ演習】

勘所3：思考に広がり深みを持たせつつ混乱を避けるために

- (1) MECE思考を体得する

- (2) ロジックツリー思考を体得する

5. 真因の特定「なぜなぜ」を体得する 【講義・グループ演習】

勘所4：効率的に要因をリストアップするために

- (1) 「なぜなぜ」でロジックツリーを使いこなす
- (2) モレ・ダブリなく要因を挙げ、トビなく因果をつなげる

6. 解決策の立案法を体得する 【講義・グループ演習】

勘所5：効果のある解決策を生み出すために

- (1) ロジックツリーを使いこなす
- (2) 成果と目的で施策をまとめる
- (3) 「戦略的自由度」思考を体感する

7. まとめ 【講義】

お申込み・お問合せ／京都商工会議所 会員部 研修事業課

webサイトからお申込み下さい。

▶ で

(URL: <http://www.kyo.or.jp/jinzai/>)

※FAXでお申込みされる場合は、本冊子内の「申込用紙」をご利用ください。

ご不明な点等ございましたら下記までお問合せ下さい。

▶ TEL: 075-341-9762

▶ e-mail: jinzai@kyo.or.jp

▶ 所在地: 〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入



お申込み後、セミナー1週間前までに下記口座にお振込み下さい。
振込手数料はご負担頂きますようお願い致します。
お振込は申込会社名もしくは受講者名にてお願い致します。

▶ 京都銀行 本店営業部
(普) No.5017759
口座名: 京都商工会議所
研修口

京商ビジネススクール申込用紙



FAXでのお申込の場合

セミナー名				開催日	月	日
会社名				事業内容		
				TEL	—	—
				FAX	—	—
所在地	〒				受講料	円 × 名分
					振込日	月
申込責任者				所属 (役職名)		
e-mail	※左記 e-mail アドレス宛に 請求書及び受講証を送付致します					
受講者名 (ふりがな)		年齢	所属部署名 (役職名)		e-mail	
		歳				
		歳				
		歳				
		歳				
		歳				

※本紙は、FAX 専用お申込用紙です。複数の研修をお申込される場合は本紙をコピーしてご利用ください。

※①ご記入頂きました個人情報は、本事業の管理・運営のため、本所の各種連絡・情報提供に利用させて頂くほか、講師及び講師所属企業に受講者名簿（企業・団体名、部署名、役職名、氏名、事業内容）として提供する場合がございます。

②本所 又は 報道機関等によって撮影された写真が本所広報物や新聞・テレビ等の媒体及び関連ホームページ等で公開されることがありますので予めご了承ください。

③セミナー中の個人による撮影・録音等は固くお断りいたします。

★下記宛に FAX にてお申込ください。



FAX

京都商工会議所 会員部 研修事業課 宛

075-341-9795